

【在宅医療・介護に関しての思い（自由記載欄）】

- 元気でコロリと一生を終えられるよう、食事とか気をつけて予防していきたいと思います。
- 家族に余裕があってのことだと思えます、家族であれば寄り添って週末を迎えさせたいと思うのが当然だと思うが病気の程度、環境等で在宅介護は無理と思われる。医療機関の充実が一番だと思うが・・・（入院前の本人の希望）
- できるかぎり介護生活にならぬ様自分なりの努力をして行こうと心がけています。
- もし介護が出たらその程度により公共機関を利用したい。
- 安心、心配のない事。
- 今の所少し血圧高と腰痛があるのみで7人家族の家事を受けてますので健康な方と思います。将来の事あまり考えていなかったのですが、確かに年は感じています。在宅医療、介護の講演会に機会があれば参加したいと思えます。
- 訪問介護について勉強して家族のもしもに備えたい。
- なるべく家族に負担がかからない様にしたい。
- （介護老人福祉施設や介護老人保健施設等）のような名称の少しずつ違う施設の区別が難しい。
- 今は何も知らないが、今後必要となってくることなので、色々情報を知りたいと思う。
- もう少し宇佐市がととのってれば、家でみたいと思えます。
- 人口が減少していく中、医療・介護サービスを地域資源として残す必要性があるのではないか？事業所が自然消滅する現在が起こるのは近い将来あると考える。
- 昔と今は家族も核家族型になり、子供たちにもそれぞれの生活圏があるので夫婦揃っての在宅介護となると、難しいのでやはり社会の手を借りることが理想です。
- 自分らしく生きて行く予定ですので、その都度対応したいと思っています。
- できるなら、元気で介護等を受けずに一生を終わりたいです。
- 私はまだ40代なので、自分というより両親の介護の心配の方が大きいです。今はまだ元気で過ごしてくれているが、将来的に介護が必要になった場合、家で介護するのは無理だと思っています。仕事に家事に子育てで精一杯なうえにプラス介護なんて、考えるだけで気が遠くなりそうです。家での負担はやはり主婦が大きくなると思います。これからの将来、色々なサービスを手軽に利用できるようになると、自宅で介護される方も増えるのかもしれないね。
- 自分自身の行動ができなければ介護施設にお世話になると思えます。
- 近隣にも一人暮らしの高齢者もいて、福祉は寄り添ってもらいたい。
- 少しでも人に迷惑をかけないように健康管理に注意し元気に生活していき、ダラダラと生きず、在宅医療・介護を受けずに最後は潔く逝きたいと思う。
- まだ自分が健康なので、実感がわからない。介護されないで済むよう健康に気を付けたいです。

- いろいろなサービスを利用してできるだけ自宅で生活をして、自分でトイレに行けなくなったら施設を利用したい。
- 我が家には89歳の父と86歳の母がいます。まさに、デイサービスを受けながら一緒に生活しています。89歳の父は食事の準備、農作業と自立した生活ができていますが認知症の入った母は介護サービスを受けています。寝たきりになった場合自宅での介護は無理だと思っています。(仕事もあり)
- 私は、他県出身で、一昨年一人暮らしの父ががんで亡くなりました。がんで余命宣告を受け、訪問看護やヘルパーさんなど、いろいろと手配し、自分も小さい子供を連れて帰省していましたが、父はすべて知らないうちに断っていました。介護は本当に難しい課題です。今だに、どうするのが正解だったのかわかりません。後悔の毎日です。
- 現在、リハビリテーションに週2回通っています。87歳です。歩行器を使いやっとな歩行しています。介護認定は認知の方に重きを置いているように見受けられます。以前、介護タクシーを使用していたが、介護タクシーに介護者を乗せないのはなぜですか？
- 当面は介護状態にはならないだろうと思っている。高齢者の割合が多くなっており、将来は介護不足が起こるだろうと思っている。
- 自分のおかれている立場上、在宅医療は望みません。
- 「制度を知る」「頼れる人に出会う」まさにそれがスタートのような気がします。「時々入院、ほぼ在宅」これを可能にするためには何が必要か？透析を拒否し延命治療もせず逝った父を看取り最後の3週間の入院は色々考えさせられました。
- 介護疲れの殺人、ALSの医師による殺人など悲しいことがあると思います。
- できる限り在宅で過ごしたいとオール電化・手すり等住関係を整え頑張っています。
- 月に一度病院に通いお薬をもらっております。その時に体の具合を先生と話し合っております。腎臓が悪く時々入退院する場合があります、患者本人が出来れば自宅にいたいとの希望ですので自宅で生活しております。週2回のデイサービスとマッサージ、入浴を訪問看護の方に自宅でもらっております。
- 在宅医療は主人が悪くなくても私の体が(腰椎手術の後遺症で何もできない状態)悪くてできないし、私が介護状態になってもできないので全く考えておりません。今は両方とも一応動いているのでこの状態が続けば良いが、と思っております。
- 子どもも家族もいない人が増えるので、今からもっと必要になると思います。
- 親が、介護が必要になったり、終末期になったときに親が望めば在宅で医療・介護サービスを受け看取りができたらいと思う。
- 自宅で安心して暮らしていくための医療と介護の両立により、最期まで住み慣れた地域で生きていけるという安心が欲しい。
- 車椅子や家の改造も考えるときが来たなあと思ってます。
- 昔と生活の形が違ってきているため、近所付き合いが少なく孤独的な面が多いので介護施設を利用する人が多くなっている。自宅で過ごす良い方法が必要だと思います。

- 母のことを思えば案じられる。
- 将来は子供の世話にならずに、在宅医療・介護を受けたいと思います。
- 出来れば自分自身の行動が責任を持てる人生を送りたいと思う。
- 介護に従事する職員は減っているのに独居の高齢者は増加しているため、将来介護が受けられるか心配。子供には極力頼らない様にしたい。
- 本人はやむえないにしても、家族にとっては大変な負担になると考える。
- 在宅医療・介護を出来るだけないように常に健康状態を保つための体力作りを行う事。
- 主人の場合わたしがある程度元気ならいろいろな支援を受けて自宅で過ごせるとは思いますが、主人も病人あるいは一人になった場合、自宅介護は難しいのではと思いますが？いつまでも元気でいれればいいと思いますが肩・膝・腰とだんだん老化していってます。
- 今受けているサービス指導支援を続けて受けたく思います。
- この先医療が大変になると思うので、頑張ってもらいたいです。
- 他人では何をされるかわからない。やはり、家族に頼りたい。
- 少子高齢化で、在宅がどこまで実現できるか疑問。70代80代になって、頻りに病院を利用するようになったときは病院への入所やホームへの入所しか考えられない。
- 今、15か月年上の夫（要支援1）と暮らしております。少し負担に感じます、24時間のうち、座っているのは3～4時間でベッドの上でテレビを見ています。ちなみに休肝日なしの晩酌・喫煙は怠りません（笑）いっそ寝たきりになって入所してほしいと思うこともあります。
- 一人での生活について、自分がどこまで家事をこなせるか心配である。その時のサービスについてすべて払拭できるかな～。
- まだ、介護する方なので私にできるかどうか不安です。
- 介護保険は最初から掛けているができるだけこの制度を利用しないで生活しているように努力している。そして、制度の利用をしないで命を閉じたいと願っております。
- トイレ、風呂が自力でできなくなったら難しい。バリアフリーに改修が必要。1階でないと無理。1部屋しかない。動線確保、片付けが必要。以前、あしを怪我して入院したことがある。病院は機能的なコンパクトな間取りだが、自宅は、ベッドはなく物が多く杖を使うのは苦労した。今のままでは在宅は難しい。
- 在宅医療・介護に関して広い範囲で自由にすることです。
- 在宅と機関を利用しながら、希望に近い状況を作って静かに楽しく暮らしたい。家族も大事だけど、お友達や仲間と支え合い共同生活できる場を作っていきたい。
- 本当は自宅が一番いい。
- 今は、在宅は考えていない。費用にもよりますが、できれば介護することもされることもしたくないです。

- 現在入所中ですが、今後出所はまずできる状況ではない。
- 人それぞれの考え方があるので何が最良なのかは最後にしかわからないのではないのでしょうか。在宅と施設それぞれに良い所があると思います。
- 私の場合ですが、在宅介護で精神的・身体的に病んでしまいなかなか修復できず子供達にも心配等かけました。
- 必要な時に適切な医療機関が対応していただければ最適です。
- 一人暮らしになった時の不安、疎外感を緩和する方法。高齢化していく上での生活方法等相談にのってくれたらうれしいと思います。
- できれば、今から前向きに人生を歩める気持ちを持たせていただける環境になっていくこと、皆が希望のある日々を過ごせる手助けや支えをして頂きながら人それぞれが「苦」にならない未来があればと思います。
- 私は医療従事者です。現場では仕事をする中でいろいろな事を考えます。今の医療に対して疑問に思う事だらけです。在宅医療・介護はとても難しいことです。仕事をしなければ生活できないし、在宅で介護をするというのも限界があります。過度の治療をして何もわからず生かされても吸引等苦しい事だらけです。わたしは自分がその立場になったらとてもいやです。死にたいと思うと思います。
- 出来るだけ子供の世話にならずに生きたいが母の世話等した者としてそれも難しいのかな？と思っています。
- 出来るだけ自宅で過ごしたいと思いますが、急病になった時はお世話になりたいです。
- 最後まで自宅で生活したいと思いますが、最後まで健康というわけにもいきませんし、思う通りには行かないと思います。
- 希望は自宅で在宅生活・介護を受けて最後まで生活したいのですが、1人暮らしなので施設に入居させて頂く事になると思います。
- 現状のままで良いです。ケアマネージャーさんをはじめ、リハビリテーション・通所介護・デイケアの方々によくしてもらい感謝します。
- 子供達と十分な意見交換をしたい。私達夫婦でも十分話合いたいと思っている。
- 認知になった場合、自分で判断できなくなり希望する介護ができないし、事前に希望を書いていたとしても家族や経済的負担等が充分でなかったらどうなるのか不安である。
- 年金、貯えがなく、足が弱く車での移動がいつまでできるのか心配大。自信ありません。
- 認知症の事、介護、色々なサービス、金銭的な事も何もわかりません。私も1人暮らしです。今はまだ会社などに行っています。先の事、10年後、20年後は我が身の事だと不安になります。子供は県外に居ますがそんなにあてにならないと思っています。将来的な予定をたてていくといいかと思う。
- 今の所2人共元気ですので食事は特に気をつけています。

- 現在要介護5の父を在宅で介護しています。日中はデイにお世話になっています。体調を崩した時の病院受診がかなり大変です。在宅医療が利用できると助かります。入院もなかなか難しく認知症があるとどこの病院でも入院をお願いしにくい所があります。父が体調を崩した時の家族の負担というものはかなりのものがあります。家で過ごさせてあげたいと思っても色々と難しい事が出てきます。出来る限りの事をしてあげたいと思っていますが、無理な事はあきらめるしかありません。仕事をしながら家族の介護をするのはまだまだ大変だなあとはいいます。在宅での介護は理想ではありますが、簡単ではありません。
- 現時点では、夫・妻どちらかが介護が必要となった時、二人のうちどちらかがしなければならぬのでそれができるか不安。将来、子世帯と同居の予定はないので在宅医療・介護については無理だと思っている。
- 在宅介護はとても大変だと思いますが地域全体（地区）が協力してくれると心強くて介護もしやすくなると思うので「明日は我が身」という気持ちでみんなが勉強して協力できる世の中になってくれれば……と願うばかりです。
- 本人ができることがあれば手伝うようにして、支えること。なるべく本人が自分でできるようにすること。
- 特別なことはしないで、自然に亡くなりたいたいです。
- 在宅は家族の協力が必要なので信頼関係を築いていきたい。
- 家族にできるだけ負担をかけたくない。
- いつかは自分も、と思っではいるができれば考えたくない避けたいという気持ちがある。それを払いのけ気楽に楽しく考えられるにはどうしたらいいのかなと思う。まだ元気だと思っている者の贅沢かな？
- 自分が車の運転ができなくなった時に現行のコミュニティバスの運行状況では病院・買い物を補うことができるのか非常に不安に思う。かといって、施設に入れるかどうか今のみでは無理な気がする。お金の面でもどうすれば老後幸せに暮らせるか考えても思いつかない。不安でなりません。
- 母と一年半在宅で過ごしました。一緒にいたいと思う家族だけの力では大変さを感じました。介護スタッフの方達の支えがあって楽しく在宅で過ごせたと今も思っています。
- 現在夫がデイケアに通所しているが、何れかに直面した時ケアマネジャーや病院の医師等と相談し良いと思われる措置をとりたい。
- 来てもらうのはいいけど、気は使いたくない。
- 現在、市内の介護施設に入居しています。（妻は3年前に他界）私には市内に長男・次男がいます。長男に色々とサポートしてもらっています。
- 家族に負担をかけたくないの、ひとりでも生活ができればいいなと思う。
- 経済的に余裕がなければ、在宅医療も介護も精神的にきつい。全て無料ならいいけどね！
- 介護保険料が他の市に対して高いと思います。

- どなたも、そうなる前に予防するべきです。病気・認知症などなった方々にはその原因があり、それは予防できます。みなさん、その知識がなさすぎです。自分に対し、甘すぎる人もしくはきびしすぎる人、考えてほしい。日本の医療費予算がいまや40兆円、ありえなさすぎでしょう！！それをなくす努力をするべきです。
- 税金を考慮し、あまり行き過ぎの介護は控えるべきである。高齢化が進み、大げさなお祝いは必要ない。もっと若い人のことも考えるべきと思う。一律の税金は必要ない。収入の多い老人も多い。
- 介護する人が健康でいられるよう、制度・サービスを知り、活用していきたい。しかし、経済的負担が大きいと、制度があっても利用できないのでだれでも利用できるようにしてほしい。介護の中にも何かしら楽しいイベントがあるといいなあと思います。気持ちが暗くならないよう独居老人の最期はどんな介護の仕方があるのか知りたかったです。もう亡くなりましたが。
- 費用がたくさんかかるのではないかと思う。今の世の中はお金さえ出せば思うようになるかも知れないけど年金では思うようにならない。
- 金銭面での補助が最大限必要と考える。
- 費用がどのくらいか？個別ではなく、総合的に分かるようにして頂けるとわかりやすい。
- 家族に負担がなく在宅ができるなら理想だが、長期や認知症があれば精神的負担が大きいので施設にお願いしたい。ただ、特養の数が少ないのもっと増やしてほしい。経済的負担が少なく多くの方が施設を利用できると良いと思う。
- 介護保険費が非常に高い。
- 年金の額から入る施設があるか心配です。
- 高齢者に対する支援は必要最少限が望ましく、これからの日本を支える若年者に対する投資をもっと増やすほうが良いと思います。
- 将来ある若者の負担が増えないように国の支援が必要だと思う。
- 年金の少ない人でも、十分な医療や介護が受けられるのか心配になります。将来年金は減り、高額医療が払えないからという人達が増えていくのではないのでしょうか？
- 訪問診療、看護、介護などの在宅ケアサービスの自己負担は1割でしょうか？
- 貯金・資金が多いお金に不自由しない家庭でなければ不可能。
- 在宅介護の場合（訪問介護をうける場合）医療費はどれくらいかかるか知りたい。
- 国保で賄える機関がほしい。
- 出来るだけ介護保険は使用したくない。介護保険料制度が大体納得いかない。この先、人が減り続けていくのにどのくらいの負担をかけるのかと思うと心が痛い。
- 1人なのでヘルパーさんに入ってもらっていましたが、ヘルパーさんはこわいそうです。私は娘ですが、本人はいつもビクビクしています。
- 在宅医療・介護機関を利用するにしても、その職に適していない人材が多数従事していると思う。

- 医療・介護に従事している方の待遇や支援を手厚くしてほしい。人材の確保が重要だとおもいます。
- 血圧降下剤を中心に甲状腺機能障害、前立腺等の各副作用の説明が各医師から、ない。
- 無理だとわかっているけど、家族が自宅で介護をする人がいればその家族に報酬として市か国から少しお金を出してもらい本人の年金からその人に報酬として渡す制度。身内でも無料として介護するのは大変だから。私としては介護してくれる人にお礼として。
- ヘルパー等人材不足という話は聞いた事がある。ヘルパーの高齢化。
- 色々な問題を考えなければ自宅で過ごしたいので、在宅医療・介護を支えて頂けるマンパワーは大事です。そのためその人達が働きたいと思える環境を整えてほしいと思います。休日・夜間の時給アップ相談窓口（働く人の施設以外での）
- 義母を長く自宅でお世話してきましたが、色々な道具をレンタルしたり訪問入浴を利用したり、みなさんが良くしてくれましたので私も大変助かりましたが、自分が同じ立場になったらどうかなと、考える所です。
- 広報活動の充実を期待する。
- 60歳で定年する人、働く人もいますが自宅にこもらずに外に出て体を動かす事で体の衰えを予防する事ができると思うし、そういう場をもうけたら良いと思う（市が主で計画する）
- 特にありませんが医療、介護関係は安心出来る対応お願い致します。
- 自分が在宅医療・介護について知識に乏しいことが本アンケートを通して分かった。在宅医療・介護について、分かりやすくその種別・機能等を説明した情報が容易に得られれば良いと思った（既にあるかもしれないが）
- 現在の医療や介護の状況は自分自身が利用する時期には変化が生じると思われるので、新しい情報に接する機会を作っていざという時に、自分で医療機関の選択に努めたいと思っている。そのためにも、行政からの情報提供をおねがいします。
- 現在、宇佐市がこの問題について何をしているのか、これから何に取り組むのか、またどのようにしていきたいのか市民の大半は知らないと思う。これから訪れる超高齢化社会に向け、市民に対し理解を深めてもらうために分かりやすく情報展開をしたほうが良いと思う。いずれ自分たちも介護保険を受ける立場になると思うので。
- 一人暮らしでは在宅医療は不安。もっと介護施設を増やして順番をなくしてほしい。
- 民生委員の訪問等もあまりなく、今後は訪問介護なども老人がおおくなりますので50歳以上の御家庭、特に（一人暮らしの老人）の家庭訪問なども宇佐市として必要と思います。
- 市役所の対応は介護等の知識を持っている人にはそれなりに接するが、知らない人には福祉担当者はアドバイスをしないのはなぜ。
- 在宅での介護は難しい。必要な人が全員。老人ホームに入所できるようにしてほしい。

- 現在、行政は在宅医療・介護の方に舵をきってます。介護するものとするれば、仕事と介護の両立は企業等のバックアップができつつあるとはいえ、かなり難しいと思います。消費税等を上げてでも介護者の疲弊を防ぐために介護予防等の充実を図るべきと思う。
- 私の実母が3年前に要介護認定を受ける状態になり病院を退院する際本人の希望（気持ち）を最優先し、在宅医療・介護を選択しました。私と妻（当時退職済み）に加え、近郊に勤務する娘の3人で母の介護の補助にあたりました。訪問してくれる医師・看護師・ホームヘルパー等熱心に主導的立場で母の介護に助力して頂き感謝する次第でした。1年あまりの期間お世話いただき母は他界しました。介護保険制度の重要さを強く感じた機関でしたが、一点のみ気になるのが訪問リハビリを受けたい旨ケアマネージャーに相談したが、整形医まで本人を連れて行く必要があるといわれ、重度の要介護者を移動させることなく、リハビリを受けられないかどうかの答えを見いだせないまま終わったことが悔やまれます。色々な形態に柔軟に対応できる制度改善を望みます。
- 自分は父を死の前日まで自宅で介護しました。今、89歳になる母と一緒に生活しています。職場は表面上では支援するといっていますが、実質的には全く考慮してくれません。行政だけでなく、国民全体で高齢化社会を支える制度を作って欲しいと思います。
- 介護サービス施設を必要になった時すぐ入れる様になったらいいと思います。
- テレビ電話などでの相談ができると良いと思います。
- 現在63歳、もうすぐ必要になると思う。前もって自分の意思決定ができるうちに「エンディングノート」「自分らしく生きる」為に今何をしておくべきか、を考える必要があると感じた。手助けができるような環境が整うように希望します。
- 在宅医療・介護に関しては2人世帯の場合はどちらが面倒みるにしても限界があり、介護を専門にしている方に任せられるように特養施設の増設が必要では。
- 祖母（寝たきり）を在宅で介護しましたが、仕事との両立で家族でところが折れました。自宅介護は経験したことのある人にしか大変さがわかってもらえず本当に辛かったです。その時に話しを聞いて下さったのがケアマネの方等々で心がとても救われたのを10年以上たった今でも心に残っています。（最後は特養へ入所）在宅医療・介護は孤独です。弱音は吐きだせる場所？を作って欲しいな……と感じます。
- それぞれの制度などをわかりやすく説明したサイトをHPにつくって欲しい。
- 介護の内容の充実。
- 在宅医療介護は家族が大変です。介護度2以上で特別養護老人ホーム介護施設に入所できれば良いと思う。
- 地元出身ではない人ばかりの地区で暮らしているので近所付き合いも浅く老後は施設で気の合う仲間を作って楽しく余生を過ごせる環境を宇佐市で実現できれば幸いです。
- 入れる施設を増やしてほしい。

- 2025年問題。あと5年の間に要支援、要介護者を増やさない取り組みを必死に考えないと今般のコロナでの医療崩壊ではないですが、介護崩壊が起きると思います。介護職の人員不足、デイ・ヘルパー・入居施設の不足は目に見えています。子供達は遠方の高齢者世帯の多い宇佐市で、広報等で食事指導や毎日継続出来るような運動を毎月掲載し健康で元気に年を取る事を意識付ける。
- 問に関係ありませんが、月に2か所病院に通っていて今は79歳で、自分で運転しているからいいけどあと1, 2年して運転できなくなったとき、中津までタクシーでは経済がついていかずバス停までは足が悪くてできないので何か割引(タクシー等)とかあればと思います。とにかく自分のことだけ出来るように頑張らなければと思います。
- 在宅医療・介護に関する現在の制度・器具や公的補助についてその時、すぐにわかるようにしてもらいたい。
- 将来、高齢の方が増えていくと思いますが、さらに在宅介護の充実を期待します。
- 行政や医療機関のサポート体制を整備してほしい。
- 在宅医療などは考えられない。病院を利用できるように行政改革を行ってほしい。
- 在宅医療・介護は家族に諸々の負担がかかるのでしないようにしたいと思う。諸施設の一層の拡充を願っている。
- 介護認定の評価を低くして、だれでも気軽に利用できるようにしてほしい。手続きも何度も市役所等に出向かなくてもよい方法があるとありがたいです。
- 父の終末期、自宅での看取りを希望したため、在宅医療・訪問看護のサービスを利用し、とてもありがたいと感じました。とても不安な状態でもスタッフの方が親身になって相談して下さってとても助かりました。今後もそういったサービスを継続してもらえよう、市からもサポートをお願いしたいです。
- 介護する家族も介護される家族も安心して過ごせる場所や情報を提供してほしい。相談しやすい窓口がいつでもあればいいと思う。
- 本人が延命を望まない場合、書類による証明で本人の希望が尊厳され(家族などが医師に反する要望を通したり許したりできないようにする)自宅や老人ホームで看取りができるようになること。
- 医療や介護の相談窓口！どのようなところに相談すればいいのか不明(特に介護の相談窓口?)
- 自分がいざ介護施設に入所しようとしたとき、数ある施設中で自分に合っているところがどれなのか(費用・環境・食など…)相談できる窓口がわからない。
- 転んで動けなくなった場合、携帯の置き場所まで一人でいけないし、そんなときどこに電話したらよいかもわかりません。
- 知識がないので、すべてのことを知りたいです。
- 説明会がいつ、どこで話しがいいのか。講演会が何もわからない。
- どこに相談していいかわからない。

- 今は健康だと思うが、いつどうなるかわからないのが人生なので在宅医療・介護に関する知識は持っていた方がいいと思う。今後、少し学びます。
- どこまでが在宅医療で、どこからが介護医療になるのか関係者は理解していると思うが、一般の人は理解困難。在宅医療とは何か、介護とは何か、漢字では理解できても内容は困難である。
- 祖母が介護施設でお世話になっていますが、ケアマネさんとの話はすべて両親がしており、私は全く理解できていません。いずれは私が両親のことで相談する必要がでてくるかもしれません。少しずつ理解していかなければと思っています。
- 在宅医療・介護に関する講演会があれば参加したいが、今は子育て等で時間がない。定期的に開催してほしい。
- 60代で深く考えなければならぬが、しなければならぬことが沢山あり、今後、知識を得なければと思っている。
- いずれは親や自分自身に必要なようになってくるのだとは思っているが、身近な人がまだ元気なので現実味がない。そういった年代の人向けの冊子などが配布されれば目を通してみると思う。施設ごとの特徴や係る費用等……。
- だんだん、身近なテーマとなってきているので、情報を得たい！！
- 介護に直面していないので、よく知らないことが多い。色々な情報を発信して頂けるとありがたい。(すでにしてくれているかもしれませんが)
- 本人や家族が安心できるよう明確な情報がほしい。
- 今年、70歳になり急に今後のことが気になり始めました。現在、なんの問題もありませんが介護のことなど学んでいきたいと思っています。
- 介護に関する情報伝達手段が少なすぎる。
- 上記等が確認できるエンディングノートがほしい。
- 在宅医療や介護に関して関心はあるが、内容がわからない。
- 取り組んでいるサービスや色々な情報をまとめた冊子があれば、事前に知識を得る事もできるし困った時に相談する事もできる。今は認知症と言われてもどこの病院に行ったらよいか判らないし、どこに相談すればよいかも判らない。
- 在宅医療介護でも自分の身の回りの事ができるまでと思っています。自分の足りない所を助けてもらう程度と考えています。介護する側なので自分の事はもう少し先で勉強して考えます。
- 自分自身が多く経験がないので今後のことを踏まえて少しずつ勉強していくことが今後の為になるかと思えます。
- 中身について今から学ぶ機会がたくさんあればいいなと思う。
- 医療や介護のこと、知っておかないといけないけど親は週一回デイサービスに行っているけど、実家任せというか実際接したことがないので色々な事、全く知りません。今後自分がその身になるのに何も知らなすぎると思いました。
- 在宅医療・介護に関する詳細な冊子があればいいかと思った。
- 介護について知識を得る機会がない。

- (医療や介護を受ける場合、必要と考えられる情報) に関しては全部必要とおもっているから今から真剣に考え勉強したいと思っている。いえ、しなくてはと思っています。
- 今回、このようなアンケートに回答するという機会を頂きまして、改めて考えさせられる事がありました。お礼申し上げます。
- アンケートを書き、知らない事が多い事を気づきました。夫婦2人少しずつ介護(施設含め)について終末医療等々考えねばと思います。よい機会をありがとうございました。
- まだ、70代の両親は元気なので介護のことはよく分かりません。今は子供のことで手一杯です。でも、年齢的にも必要なことだと思っています。「介護が必要となった時に」では遅いので、早い時期から知っておくことが大事だと思いました。介護について学ぶ(このアンケートが)きっかけになりそうです。
- 私にはあまり関係がないと思っていましたが、この調査票を読んでその時が必ず来ると思いました。
- 大変だと思うだけ。
- 税金というコストをかけて(手間もかけて)この内容のアンケートをやる必要性が市民として理解できない(どう活かされるのか?)
- 少し難しかったです。
- 今の日本の状態で対応不可能であり、対応しようとするれば中途半端しかかなりえない(形だけ)今後必要なことなので方向性や結論を、期限をもって出す必要がある。無駄な論議は不要。時間がない。
- もう手遅れである。期待できない。無駄な抵抗。中途半端ないい加減な対応は一番悪い。
- アンケートについて、もう少しわかりやすい言葉で説明してもらいたい。字を大きくしてほしい。
- 現状では何を言っても無駄と思います。
- アンケートに答えることが、大変そうでした。(対象者から聞き取り代筆)
- 未だ介護を必要としないので特に思う事はない。
- 特にまだ介護について考えてない。
- まだ、体験したことがないのでわかりません。ただ、人の話・TVなどを見ていたらとても大変だと思います。
- 大きな病気をしないからわかりません。
- 最後は家で過ごしたいけど今は何も考えておりませんので。
- まだわかりません。ごめんなさい。
- わからない。
- まだ考えてない。
- 家族がどう賛成又は反対するか?まだ、本人も家族も若いので深く考えてないところもある。

- 現状は具体的に考えた事がなく、これから家族・子供達と話し合いをしていきたい。
- 何も解らない。
- 今の所、何も全てがわかっていません。これから少し興味を持って知識を身に着けたいと思います。協力できなくて申し訳ないです。
- 80歳の老人、今後のこともあり、電話乞う。
- 「安心の安全」「終活力」
- ネットで調べられるので、特に今はなし。
- 新型コロナ等で医療機関も大変。政府の対応が一致していない。その場しのぎではその時また不安。